

【事業実績】中核館であるちひろ美術館・東京、および構成団体である練馬区立美術館において、地域とともにある美術館での子育て支援事業を実施した。(以下実施項目順)

(1) 鑑賞教育活動、子育て支援事業、体験型ワークショップの開催

①鑑賞会



○夏休みギャラリートーク (2019. 8/19) ○赤ちゃん/子どものための鑑賞会 (2019. 11/4、2020. 1/13) ○あかちゃんと家族の鑑賞会 (2019. 6/16、12/15) ○トコトコ美術館 (2019. 5/18・19・26・、6/22・23、12/21・22) : 参加人数延べ 227 名

参加者からの声 (アンケートより) 「娘が想像以上に作品に興味を持ち、自分の目線で楽しんでくれました」「鑑賞だけでなく、ふだんから子どもの感情の動きにもっと意識を向けようと気づかされました」「親の方が緊張していましたが、子どもはいろいろと興味を持ったようで、いい機会になりました」「以前も参加しましたが、年齢が上がったことで反応も変化したのを見られて良かったです」

②子育て支援事業

③出張子育てのひろば

④保育者派遣

○わらべうたあそび (2019. 6/29, 9/7, 12/7) ○親業講演会 (10/9) ○対談 (11/30) : 参加人数延べ 228 名

○出張「子育てのひろば」 (11/13、2019. 1/18) : 参加 20 組 ○親行講演会に伴う保育者派遣 (10/9) : 保育 利用 4 名

参加者の声 (アンケートより) 「親子でいっしょに歌ったり触れ合ったりできてとても良かったです」「初めての「広場」でしたが、いろんなママたちに会えてよかったです」「自己流育児に悩んでいたが、視野を広く持つきっかけとなった」「子どもだけでなく、妻との接し方が変わりそうです」「今日は孫と娘といっしょにきました。心地よい空間で、貴重なお話をうかがう機会をありがとうございました」「対談を通して、フェミニズムについて新たに考える機会をいただきました」



⑤体験型ワークショップ・親子コンサート



○〈坂本繁二郎展関連ワークショップ〉 絵から始まる音の旅 ○ちひろの水彩技法体験ワークショップ

～音楽の手触り～ (2019. 7/25) : 参加者数 17 名
2019. 8/5～7、2020. 1/2～3) : 延べ参加者数 384 名



○谷川俊太郎×谷川賢作コンサート (2019. 9/8) ○コンサート「音とにじむ」 (2019. 9/28) 参加者数 : 87 名
@練馬区立下石神井小学校 : 参加者数 405 名

参加者の声(アンケートより)「大人も子どもも夢中になれる内容で素敵なワークショップでした」「家でも子どもといっしょにやってみようと思いました」「楽しいだけでなく学びがありとても良かった」「自分の知らない技法、世界観を学ぶことができ、視野が広がった」「展示作品とリンクして体験し、形になるのはうれしいです」「絵、朗読、ピアノと歌声、絶妙なトークで、子どもたち含め会場が一体となってとても楽しい内容でした」「子どもの学校で、家族で参加できるのは、大変幸せなことだと思います」「心が解放されました。いろいろな音や風景が見られました」「子連れで堅苦しくなく、リラックスして楽しめました」

⑥利用者への広報活動

(保護者向け鑑賞ガイドおよび「おやくそく」作成、配布)



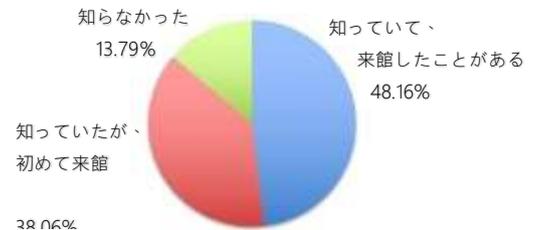
アンケート

1.この催しをお知りになったきっかけ

2.開催館(ちひろ美術館/練馬区立美術館)のことはご存知でしたか

回答結果

果 開催したイベントの参加者を対象にアンケートを実施：回収 515 枚



3.内容の満足度



満足度については、「期待以上」が約88%となり、「回数を増やしてほしい」「ずっと継続してほしい」という声も多く寄せられています。イベントをきっかけに親子三代で訪れてくださった例もありました。

(2) 学校と連携した活動

①出前鑑賞教育、出前ワークショップ等



○〈スクールプログラム〉出張プログラム(2019.11/19、12/16、2020.2/6)、出前授業(2020.1.13・14・21)ほか

②出前活動に必要な教材の作成：出前講座用バナー、所蔵品カード



③教員向け内見週間、教員研修受け入れ、

練馬区立美術館、ちひろ美術館それぞれの所蔵品カードを、単独でも2館あわせても楽しめるように、体裁等をそろえて作成、増刷しました。

ティーチャーズデイ開催

(3) 地域ネットワーク構築のための検討会議、アンケート調査

①地域ネットワーク構築のための検討会議、アンケート調査

②地域参加者の募集（実施期間 2019. 5/11～7/28, 11/1～2020. 1/31）

③先進事例調査（調査施設：損保ジャパン東郷青児美術館、国立近代美術館、所沢市立三ヶ島中学校）

